



一般社団法人・静岡県中部未来懇話会は6月10日、2022年度定時社員総会を、静岡市葵区のホテルアソシア静岡で開いた。21年度の事業報告と決算

22年度定時社員総会 事業報告を承認、理事など改選 静岡県中部未来懇話会

報告を承認し、任期満了に伴う理事・監事を改選した。

あいさつした中西勝則会長（静岡銀行会長）は、「新型コロナウイルス感染症のため、今までリアル講演会の開催が難しかったが、今年は皆さまに人気のある経営戦略セミナーを開催する」と述べた。セミナーは7月から23年2月まで計5回の予定で3年ぶりの開催となる。

その上で中西会長は、「景気は持ち直していると言われるが、静岡はまだ上向いていない」とし、現在の景気状況には、先行きが見えない「不確実性」、デジタル化や脱炭素化など以前

に戻れない「不可逆性」、コロナ後に予想される「人材不足」の「三つの不」があると指摘。「多くの課題があるが、皆さんと地域の景気を良くしていきたい」と話し、中部地域の発展に向けて支援と協力を呼び掛けた。

総会終了後に開かれた理事会では、任期満了に伴う代表理事の選任を行い、中西会長ら5氏

が再任された。

引き続き「SDGsに取り組まないリスク・取り組む機会」をテーマにシンポジウムを開催し、リレートークとパネル討論を行った。

（シンポジウムは7月号に掲載）

◇改選された理事・監事の皆さん（※は新任）

【理事】中西勝則（静岡銀行会長）、鈴木與平（鈴木会長）、戸野谷宏（静岡ガス会長）、川井敏行（静岡鉄道社長）、大須賀紳晃（静岡新聞社社長）、豊島勝一郎（清水銀行会長）、後藤康雄（はごろもフーズ会長）、木内藤男（木内建設会長）、山田潤（焼津水産化学工業社長）、西村やす子（ふじのくに物産社長）、馬瀬和人（一般財団法人静岡経済研究所理事長）、大石剛（静岡新聞社代表取締役）、谷川治（静岡新聞社常勤顧問）、大村治（静岡県中部未来懇話会事務局長）、※築地茂（静岡新聞社編集局論説委員、静岡県中部未来懇話会事務局次長）

【監事】河野誠（弁護士）

◇再任された代表理事の皆さん

【会長】中西勝則

【副会長】鈴木與平、戸野谷宏、川井敏行、大須賀紳晃